

平成27年度 学校・家庭・地域の連携による 教育支援活動 ～ 実践事例集 ～



北海道教育委員会

平成28年3月

【表紙写真：（左）網走市放課後子ども教室推進事業、（右）登別市学校支援地域本部】

はじめに

北海道教育委員会では、子どもたちの安全・安心な居場所づくりや、地域と一体となった学校支援活動の推進を図るため、学校支援地域本部事業などを「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」として総合的に推進しております。

さらに、今年度から、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身に付いていない児童生徒への学習支援の取組「子ども未来塾」を支援するほか、地域住民が学校運営に参画する「コミュニティ・スクール」の導入促進の取組を進めてきたところです。

各市町村においては、地域住民等が子どもたちの学習や体験活動、子育てを支援する取組に積極的に参画するなど、地域の実情に応じた様々な教育支援活動が展開されているところであり、このたび、こうした取組の一層の充実を図るため、平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞した活動をはじめとする、優れた学校・家庭・地域の連携協力推進事業の事例など、道内各地で先駆的に取り組まれている事例をまとめました。

ついでには、各地域における、学校・家庭・地域の連携による教育支援活動の一層の充実が図られるよう、本事例集を活用願います。

末筆ですが、本事例集の作成にあたりまして、関係市町村教育委員会の皆様方の多大な御協力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

平成28年3月

北海道教育庁学校教育局義務教育課
教育環境支援担当課長 岩 淵 隆

～ 目 次 ～

1、平成27年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰受賞活動

①胆振管内・登別市（学校支援地域本部事業）	P 1
②宗谷管内・幌延町（放課後子供教室）	P 2
③オホーツク管内・網走市（放課後子供教室）	P 3

2、各市町村における実践事例

①空知管内・南幌町（放課後子供教室）	P 4
②日高管内・様似町（放課後子供教室）	P 5
③十勝管内・清水町（放課後子供教室）	P 6
④空知管内・岩見沢市（子ども未来塾）	P 7
⑤石狩管内・江別市（子ども未来塾）	P 8
⑥後志管内・古平町（子ども未来塾）	P 9
⑦上川管内・東神楽町（子ども未来塾）	P 10
⑧上川管内・東神楽町（土曜学習）	P 11
⑨胆振管内・登別市（コミュニティ・スクール）	P 12

学校支援地域本部

平成27年度優れた「地域による学校支援活動」
文部科学大臣表彰受賞活動

こんな
活動です

コーディネーターを中心に地域ボランティアの協力による学校支援活動

胆振管内 登別市

登別市では、コーディネーターを中心に市内全小・中学校を対象に学校支援地域本部事業を実施している。

活動名	登別市学校支援地域本部事業
関係する学校	市内全小・中学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

登別市学校支援地域本部は、実行委員会の下に地域教育協議会（市内5中学校区）を設置するとともに、各中学校区に1名コーディネーターを配置している。また、ボランティアについても、各中学校区で登録している。

実行委員会については、年2回開催しており、実行委員会の会議を受けて、各地域教育協議会において、活動計画を協議している。

●特徴的な活動内容

市内小学校低学年を対象にした、世代間交流事業では、昔遊びなどを通して、地域の高齢者との交流を深めている。

各中学校区での活動としては、「ふれあい農園」や「音楽を聴く会」、「昔の遊び体験」や「もちつき」、「川遊び」や「ｽｰｯチャﾞﾊﾞﾗ」、「親子ふれあいまつり」、「さけの採卵体験」や「史跡めぐり」など、様々な活動を実施している。



実施にあたっての工夫

コーディネーターの役割分担や担当などを明確にし、研修会へ積極的に参加することで取組の向上を図っている。また、各校区のコーディネーターが地域ボランティアを発掘することで、登録者数は年々増加している。

事業の成果

- 地域全体で学校の活動を支援することにより、教員が子どもと向き合う時間の確保や、地域住民の知識・経験や生涯学習等の成果を発揮できる場の充実となった。
- 学校と地域による連携が充実することにより、ボランティア登録者数の増加など、地域の教育力の向上が図られた。

放課後子供教室

平成27年度優れた「地域による学校支援活動」
文部科学大臣表彰受賞活動

こんな 幼・小・中一体となった放課後 活動です 子ども教室

宗谷管内 幌延町

幌延町問寒別地区では、乳幼児と小学生に加え、中学生もボランティアスタッフとして参加する放課後子ども教室を運営している。

活動名	放課後子ども教室「おひさま子育て会」
関係する学校	幌延町立問寒別小中学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

幌延町問寒別地区では、小学生の放課後の居場所がないという課題があった。そこで、乳幼児の親子の居場所づくり事業を拡大し、事業をスタートさせた。

午前中は乳幼児の活動、午後からは、幼児と小学生を対象とした活動を展開している。そのため、幅広い年齢層の子どもたちの交流や学習の場となっている。

週1回の定期的な活動に加え、季節行事など、各種イベントを開催し、年間約50日の活動を実施している。

●特徴的な活動内容

町民会館を拠点に、保育所の空きスペースも活用し、子どもの見守りと自由遊びを中心に実施している。

また、地域の大人や青年組織と連携し、各種イベントを開催するなど、地域の大人と子どもたちが交流する機会を設けている。



実施にあたっての工夫

中学校と連携し、小学生まで活動に参加していた中学生がボランティアスタッフとして、活動に参加している。

事業の成果

- 過疎地のため、子どもたちの家が離れていることから、放課後、子ども同士で遊ぶことが難しかったが、本事業の実施により子どもたちの居場所ができ、放課後の活動が充実した。
- 乳幼児の保護者たちも一緒に活動する機会を設けることにより、子育てについての情報交流や学習機会の充実となった。

放課後子供教室

平成27年度優れた「地域による学校支援活動」
文部科学大臣表彰受賞活動

こんな
活動です

「遊べるまちのプレイステーション
アソビレッジ
【遊村あばしり】」

オホーツク管内 網走市

網走市では、NPOなど市内の団体と連携し、特色のある様々なプログラムで、子どもの居場所づくりを行っている。

活動名	網走市放課後子ども教室推進事業「遊村（アソビレッジ）あばしり」
関係する学校	市内全小学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

網走市では、実行委員会を組織し、平成18年度から放課後の子どもの居場所づくりを行っており、現在9教室、延べ実施回数409回、延べ参加人数約4,500人という規模で実施している。

活動は、市内のNPOなど4つの団体等からなる実行委員会に委託し実施している。

●特徴的な活動内容

- ・体育教室（トランポリン、スナッグゴルフ、キックベースボール、体育が苦手な子のための体育教室など）
- ・音楽教室（合唱と音楽遊び）
- ・アート体験（フィンガーペイント、ステンドグラスアート、ペットボトルアートなど）
- ・学習プログラム（英会話、読み聞かせ、書道など）



実施にあたっての工夫

毎月実施団体の代表であるコーディネーターが集まり企画会議を行い、情報共有と課題解決を行っている。

事業の成果

- 地域住民が活動に携わり、子どもたちとの交流を深めることにより、地域住民の生活の潤いや生きがいとなり、地域の活性化が図られた。
- それぞれの団体が特色を活かした活動プログラムを実施することにより、放課後や週末に安全安心な居場所を提供することができた。

放課後子供教室

こんな活動です 子どもたちに様々な体験活動の場を提供する放課後子ども教室

空知管内 南幌町

南幌町では、コーディネーターが中心となり、学校を活動場所として放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体的に運営している。

活動名	南幌町放課後子どもプラン推進事業
関係する学校	南幌町立南幌小学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

南幌町では、放課後子どもプラン運営委員会（委員は南幌町社会教育審議会委員が兼務）を設置し、放課後子ども教室（あそびの達人教室）と放課後児童クラブを一体的に運営している。また、コーディネーターと教育活動推進員、児童クラブは専任の支援員を配置し、事業を実施している。

あそびの達人教室は、概ね週1回年間30回と長期休業中10回実施し、放課後児童クラブは、休日・年末年始を除き開設している。

●特徴的な活動内容

「あそびの達人教室」は、昔あそび・軽スポーツ・文化活動などを企画し、毎月カレンダーを配付し活動を周知している。放課後児童クラブは、学校の空き教室を使用しており、あそびの達人開催時は、支援員とともに参加している。



実施にあたっての工夫

コーディネーターと生涯学習サポーターが、子どもたちに「本物を体験させる」という思いのもと、「本気度とスピード感」を大切に講師との調整や準備等に取組んでいる。

事業の成果

- 子どもたちが、あそびの達人教室で体験したことにより、そのことをきっかけとして、スポーツ少年団活動に加わったり、郷土芸能を習いはじめたりするなど、活動の幅が広がった。
- 講師として地域の達人を招くことにより、地域住民の学習成果を活かす場が確保できた。

放課後子供教室

こんな活動です 小学校と隣接した専用施設による一体型の放課後子供教室

日高管内 様似町

様似町では、小学校校舎に隣接した専用施設を活用し、放課後子供教室と放課後児童クラブを一体的に運営している。

活動名	様似町放課後子どもプラン推進事業
関係する学校	様似町立様似小学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

様似町では、小学校に隣接した専用施設を活用し、放課後子供教室と放課後児童クラブを一体型で運営している。運営委員会は、社会教育委員の兼務としており、コーディネーターは、町教委指導主事が担っている。毎月、指導者と担当者による打合せを行い、情報共有しながら運営している。行事等に応じて、ボランティアを依頼しながら活動している。

●特徴的な活動内容

通常は自由活動が中心であるが、指導主事による学習の時間を定期的に設けることで、学習習慣の定着を図っている。また、長期休業中には、季節にあった行事（水遊びなど）や大学生との交流などを企画している。



実施にあたっての工夫

現場での指導が混乱しないよう、運営に関する指導は、児童クラブの担当者が行うなど、福祉部局と教育委員会で役割を明確にしながらい一体型の運営を行っている。

事業の成果

- 学校と隣接しているよさを生かし、教職員との連携を充実させることにより、子どもたちの情報を十分に共有して事業を実施した。
- 一体型で運営することで、全ての子どもたちの受け入れが可能となったことにより、全ての子どもが安全安心して過ごせる居場所づくりが十分に確保できた。

放課後子供教室

こんな 活動です 学校施設を有効に活用した 一体型の放課後子供教室

十勝管内 清水町

清水町では、放課後子供教室と放課後児童クラブのいずれも、首長部局の子育て支援課が所管し、一体型の運営を推進している。

活動名	清水町放課後子ども教室
関係する学校	清水町立清水小学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

清水町では、放課後子供教室と放課後児童クラブのいずれも、首長部局の子育て支援課が所管するようになって一体型が実現した。担当する職員は、コーディネーターも含め約10名が指導にあっている。

放課後に学年の異なる子ども同士の遊びを通じた交流等により、自主性や社会性を養うことを目的としている。

●特徴的な活動内容

放課後子供教室と放課後児童クラブの児童ともに、指導員が仲間あそび(学習活動、読書活動、ビデオ鑑賞、昔遊び、ボードゲーム、運動あそび、レクリエーションなど)を提供している。

活動は、学校の空き教室4つのほか、体育館等も活用している。



実施にあたっての工夫

特別な配慮が必要な児童等への対応について学校と話す機会を設けるなど、子どもたちの情報共有を図り、教職員と連携をとっている。

事業の成果

- 平成25年度から、放課後児童クラブについても6年生まで受け入れることとしたことにより、利用者が増加している。
- 学校施設を活用することにより、子どもたちの活動スペースが確保できることや交通安全面の不安が解消されるというメリットがある。

子ども未来塾

こんな活動です

地域住民の協力による、充実した放課後の学習支援

空知管内 岩見沢市

岩見沢市では、「学校・地域元気アップ支援事業本部」を設置し、教育委員会指導室に「地域コーディネーター」を配置し、学習支援活動を推進している。

活動名	学校・地域元気アップ支援事業本部
関係する学校	岩見沢市立日の出小学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

岩見沢市立日の出小学校では、「放課後学習会」を年間15日間（1時間）、月1～2回のペースで実施している。

岩見沢市教育委員会から派遣されたボランティアの方（地域住民、大学生など）が中心となり、子どもたちの学習支援活動を行っている。



●特徴的な活動内容

子どもたちを3グループ（1年生、2～3年生、4～6年生）に分けて実施している。各グループ20～30名程度の参加者となっている。プリントを活用して、国語（漢字）、算数（計算）の補足的な学習を行っている。プリントは、学校が用意している。一部、子ども自身が習熟の程度に応じた課題を選択して行っている。各教室のボランティアは2名程度で、採点や個別指導などの学習支援を行っている。

実施にあたっての工夫

ボランティアの派遣については、市教委がコーディネートを行っている。地域に大学があることから、大学生も有効に活用しているが、ボランティア確保のために、今後は更に大学との連携強化を図ることとしている。

事業の成果

- 少人数で、きめ細やかな個別指導を行うことにより、学習意欲が高まる子どもが増加した。
- 学習支援を通じて、地域住民など多くの方と子どもたちが接することにより、ボランティアの方はもとより、保護者や地域住民に対して、礼儀正しく接する子どもが増加した。

子ども未来塾

こんな活動です

地域に在住する退職教員の協力による積極的な学習支援

石狩管内 江別市

江別市では、「学習サポート教員」を活用した「学習サポート事業」を実施し、市内全ての中学校の学習支援を積極的に行っている。

活動名	江別市学校支援地域本部事業（子ども未来塾）
関係する学校	市内全中学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

江別市学校支援地域本部は、学校教育関係者、PTA、学校支援ボランティアなど11名で構成される運営委員会を設置し、活動方針の決定などを行っている。また、運営委員会の下に、地域教育協議会を設置し、ボランティアの登録や事業の検証・評価などを行っている。

学校とボランティアの連絡調整はコーディネーターが中心となり、学校のニーズに応じたボランティアの派遣を行っている。

●特徴的な活動内容

授業以外において、個々の生徒の理解の状況に応じたきめ細かな指導を行い、主体的な学習意欲の向上と基礎学力の確実な定着を図ることを目的として、放課後の学習支援「子ども未来塾」を実施している。

指導内容は、主に生徒が持参する問題集、学校で用意するドリルによる個に応じた学習指導であり、「学習サポート教員」が指導にあたるが、教員も分担して指導に当たることもある。



実施にあたっての工夫

地域に在住する退職教員や教員免許状保有者を「学習サポート教員」として登録し、中学校の各教科の授業補助や放課後の学習支援に当たっている。

事業の成果

- 退職教員や教員免許保有者を「学習サポート教員」として活用することにより、質の高い学習サポートを実施することが可能となった。
- 「学習サポート教員」を派遣することにより、学校では担任と協力してきめ細かな指導が充実したほか、生徒の学習意欲が向上した。

子ども未来塾

こんな活動です

スクールバスの待ち時間を有効活用した放課後の学習支援

後志管内 古平町

古平町では、スクールバスの発着場所である町民文化会館を会場に、地域住民が中心となり子どもたちの学習支援を行っている。

活動名	放課後ふるびら塾
関係する学校	古平町立古平小学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

- 子ども未来塾は、学校支援地域本部の活動の一つであり、古平町で実施している学校支援地域本部は、12名の運営委員（小・中学校長、小・中学校教頭、小・中PTA会長など）で構成される運営委員会を設置し、様々な学校支援活動を実施している。
- コーディネーターを1名配置し、登録制となっているボランティアの方のコーディネートを行っている。
- スキーや柔道等の授業のサポートのほか、参観日における託児などの活動も行っている。

●特徴的な活動内容

- 古平町学校支援地域本部の活動の一つである子ども未来塾を「放課後ふるびら塾」という名称で、毎週木曜日に放課後の学習支援を実施している。
- 参加者は登録制となっており、現在、全校児童の約4割が登録しており、登録者の出席率も約9割を超えている。
- 地域住民が指導者となり、子どもたちの学習をサポートしている。



実施に当たっての工夫

「放課後ふるびら塾」は、事業の実施日を全学年の児童が一斉に帰る日に設定し、学校ではなく町民会館を会場としている。また、会場がスクールバスの出発地点となっているため、スクールバスの待ち時間を利用して参加する児童が多い。

事業の成果

- 地域住民が指導者として授業のサポートや学習支援に関わることにより、子どもたちと地域住民とのつながりが深まった。
- 定期的に放課後の学習支援を実施することにより、子どもたちの学習意欲の向上が図られた。

子ども未来塾

こんな 活動です

地域住民が主体的に運営する学習支援
「てらこや」事業

上川管内 東神楽町

東神楽町では、地域住民が主体となった運営委員会と教育委員会が連携し、土曜日や休日等の学習支援「東聖てらこや」を実施している。

活動名	子ども未来塾「東聖てらこや」
関係する学校	東神楽町立東聖小学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

東神楽町では、地域住民が主体となり「東聖てらこや」を立ち上げ、教育委員会と連携し学校を交えた運営委員会を開催し、事業を推進している。

スタッフは、現在、元教員や教員免許保持者など9名で運営しており、地域住民のボランティアのほか、長期休業中は、教育大学旭川校の学生も参加し、子どもたちの学習支援を行っている。

●特徴的な活動内容

学習が遅れがちな小・中学生を対象とし、家庭学習習慣を身に付けるため、毎月第1・3土曜日の午前中に活動を実施している。その他、長期休業期間中の特別指導も実施している。

長期休業中については参加対象を中学生にまで広げている。



実施にあたっての工夫

事業のスタートは、「地域の子どもたちのために学習支援を行いたい」という住民からのアイデアでスタートした。そのため、運営も地域住民のコーディネーターが中心となり教育委員会がサポートするという体制となっている。

事業の成果

○少年団や塾に行っている子が多い地域であるが、学習支援を実施することにより、それ以外の子どもたちの学習習慣の定着など居場所としての機能を果たした。

土曜学習

こんな活動です 地域の教育資源や人材による
豊かな土曜日の活動

上川管内 東神楽町

東神楽町では、町内の各団体と連携し、体験的な活動を中心に土曜日に年間を通じて、様々なプログラムを提供している。

活動名	東神楽町チャレンジクラブ
関係する学校	東神楽町内全小学校
国の補助	有



活動内容・特色

●活動の概要

東神楽町は、土曜日の教育活動の充実を図るため、地域の教育資源や人材を活用した「チャレンジクラブ」を町内の小学生（4年生以上）を対象に実施している。

既存の会議を活用した土曜教育運営委員会を開催し、事業内容の検討や学校との連絡調整を行っている。また、活動の講師には地域の各団体から協力を得ており、土曜教育コーディネーターが依頼等を行っている。

●特徴的な活動内容

「楽しく遊び、仲良く学ぼう」をテーマに、創作活動・ボランティア・レクレーションなどの活動を通して、人と力を合わせていく心や自然や郷土を大切にすることを目的としている。



実施にあたっての工夫

町内の文化団体やスポーツ団体、事業実行委員会に加え、町内各地区で自主的に運営されている公民館と連携し、子どもたちに様々な活動を提供することが可能になっている。

事業の成果

○学校では経験できない体験的な活動を中心にプログラムを立案することにより、子どもたちに土曜日ならではの豊かな活動を提供することが可能になった。

○事業終了ごとに関係者から意見を伺い事業評価を行うことにより、次回の活動プログラムの充実に向けた活動内容の見直しを図る体制ができた。

コミュニティ・スクール

こんな活動です 学校運営協議会による、学校と地域との連携・協働の取組

胆振管内 登別市

登別市では、市内全13校でコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、学校と地域との連携・協働による取組を推進している。

活動名	登別市版コミュニティ・スクール
関係する学校	市内全小・中学校
国の補助	無



活動内容・特色

●活動の概要

登別市は、学校評議員、町内会役員、民生委員児童委員、保護者、学校職員等から構成される学校運営協議会を市内全小・中学校に設置し、学校運営の充実と改善を進めている。

運営協議会では、学校運営や地域の子どもたちについて、地域や保護者の願いに基づき、さまざまな教育活動の方向性を協議している。

また、学校支援地域本部事業と連携を図りながら、各学校がそれぞれの地域の特色を活かした、各種事業を展開している。

●特徴的な活動内容

登別市立若草小学校では、運営協議会における協議を基に、学校支援地域本部と連携し、

- ・地域連携コミュニティ（ふれあい農園、世代間交流）
- ・教育活動コミュニティ（心の育成、学力向上、体力向上）
- ・安全推進コミュニティ（子どもの見守り、街頭指導）

の3つの部会が中心となり、地域住民の主体的な活動が展開されている。



実施にあたっての工夫

これまでの「学校評議員制度」「学校支援地域本部事業」を基盤として、各学校の特色を活かした学校運営協議会を設置することで、地域住民が参画しやすい体制づくりを行っている。

事業の成果

- 地域住民の学校運営への参画により、子どもの安全確保の取組や学校評価の充実など、学校の教育活動の充実とともに、地域の教育力の向上、地域コミュニティの礎の再構築にもつながった。
- 地域が学校の応援団として活動することにより、地域総がかりで子どもの成長を支えるなど、子どもを取り巻く教育環境が充実した。

学校・家庭・地域の連携による教育支援活動実践事例集

発行 平成28年3月
北海道教育委員会

問い合わせ先 〒060-8544
札幌市中央区北3条西7丁目
学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ
TEL 011-204-5753
FAX 011-232-1072
E-mail kyoiku.tiikisien1@pref.hokkaido.lg.jp

【裏表紙写真：幌延町放課後子ども教室】



平成27年度
学校・家庭・地域の連携による
教育支援活動
～実践事例集～